

令和2年度
事業報告附属明細書



公益財団法人 生長の家社会事業団
児童養護施設 生長の家神の国寮

令和2年度 児童養護施設 生長の家神の国寮 事業報告

I 概要

【令和2年度を振り返って】

令和2年度は、コロナ禍の中、緊急事態発生に対応する施設全体の仕組み作りと、児童養護施設の社会的使命を果たし続ける「施設永続化計画」の実現に取り組んできた。その中で、改めて地域との結びつきの重要性を痛感し、「地域貢献」「社会貢献」を果たしていくことを決意した一年だった。また、双子ホーム第1棟目が8月に運用を開始、更に令和3年3月に2棟目が運用を開始し、定員削減も東京都から認可された。これによって、令和3年度から「双子ホームの運用開始、本体施設定員30名、地域小規模児童養護施設定員18名、看護師・医療的ケア職員の新規配置」という「新体制」を実現することができる。

重点対策の「働き方改革」については、職員個々の就業時間を分析して、施設全体として職員が安心して長く働き続けることができる環境作り(メンタルヘルスの観点とライフワークバランスの観点)に取り組んできた。また、昨年度に続き、新任・チューター研修、ホーム長研修、全職員対象の「目標管理シート」の記入による上司面談等、段階的な人材育成に関するアプローチを進めることができた。

一方、課題を抱える子どもに対応する現場ホーム職員の負担感や不安感は年々増幅している。今後、現場職員の増員並びに役職者や専門職の重層的な関わりを更に増進させて、職員の心身共なる健康的な勤怠管理の実施・実現をめざしていく必要がある。

「施設の「高機能化」「多様化」、については、「課題を抱えた児童」へのチームアプローチの重要性が益々顕著になったと言えよう。当施設では家庭の養護養育の観点から「小規模施設運営」が成されて久しく、居住空間等のハード面と、児童構成や個の職員との愛着形成(所謂ソフト面での働きかけ)により、児童の課題に対応してきた。その良さを生かしながら、本年度、現場のケアワーカーと専門職・小児精神科医との協働を深化させていくべく「Drケースカンファレンス」を開始したが、大きな成果をあげつつあると言える。現場職員の取り組みを精神科医や心理士の専門的知見から評価し、ケアワークの見通しと自信を与えることができたと言えよう。

II 措置児童の入所状況について

1 各月入所児童数及び在籍児童状況(各月1日現在)

【施設全体】

		幼児		小学生		中学生		高校生		その他		計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4月	男	2	6	7	13	9	15	5	9	2	5	25	48
	女	4	6	6	13	6	15	4	9	3	5	23	
5月	男	2	6	7	13	9	15	5	9	2	5	25	48
	女	4	6	6	13	6	15	4	9	3	5	23	
6月	男	2	6	7	13	9	15	5	10	2	5	25	49
	女	4	6	6	13	6	15	5	10	3	5	24	
7月	男	2	6	7	13	9	15	5	10	2	5	25	49
	女	4	6	6	13	6	15	5	10	3	5	24	
8月	男	2	6	7	13	9	15	5	10	1	4	24	48
	女	4	6	6	13	6	15	5	10	3	4	24	
9月	男	2	6	7	13	9	15	5	10	1	4	24	48
	女	4	6	6	13	6	15	5	10	3	4	24	
10月	男	2	6	7	13	9	15	5	10	1	4	24	48
	女	4	6	6	13	6	15	5	10	3	4	24	
11月	男	3	7	7	13	9	15	5	10	0	2	24	47
	女	4	7	6	13	6	15	5	10	2	2	23	
12月	男	3	7	7	13	9	15	5	10	0	2	24	47
	女	4	7	6	13	6	15	5	10	2	2	23	
1月	男	4	8	7	13	9	15	5	10	0	1	25	47
	女	4	8	6	13	6	15	5	10	1	1	22	
2月	男	4	8	7	13	9	15	5	9	0	1	25	46
	女	4	8	6	13	6	15	4	9	1	1	21	
3月	男	4	8	7	13	9	15	5	9	0	1	25	46
	女	4	8	6	13	6	15	4	9	1	1	21	

III 施設運営管理について

職員構成

令和3年3月31日現在

	正副施設長	ケアワーカー	心理	事務	その他専門職	地域・ショート	調理員(非)	その他非常勤	嘱託医	SV	計
男	2	16	1	2	6	1		1		2	31
女		12	3	1	4	2	3	8	1	1	35
計	2	28	4	3	10	3	3	9	1	3	66

IV 健康管理

1 検便の実施

2 職員健康診断の実施

年1回、9月に実施。

3 児童健康診断の実施

年2回実施。前期は4月に各学校で実施された。

V 建物諸設備の管理 修繕等

- 7月25日～27日 本体施設西側植栽(畑新設)の工事
- 10月15日～12月7日 本体施設ひだまりホームの内装工事
- 12月4日～6日 非常用発電機設置に伴う工事

VI 災害対策の実施状況

1 避難訓練

	想定	訓練内容
4月18日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
4月26日	地震火災	総合自主避難訓練(GHさくらんぼの家)
5月29日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
6月12日	地震火災	総合自主避難訓練(GHひまわりの家)
6月29日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
7月24日	地震火災	総合自主避難訓練(GH樺の家)
7月29日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
8月19日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
9月25日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
10月23日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
11月27日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
12月25日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
1月15日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
2月19日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)
3月18日	地震火災	総合自主避難訓練(本体施設)

2 9月26日 消火器具・自動火災報知設備・誘導灯及び誘導標識

9月26日 消防機関へ通報する火災報知設備

3 防火・防災・児童の安全に関する掲示及びお知らせ、取り組み等

4月25日	修繕箇所の確認、屋上備品倉庫の設置案について(運営会議にて)
5月30日	修繕箇所の確認、避難訓練報告(運営会議にて)
6月24日	災害用掲示板の確認(記録システム掲示板にて)
6月27日	修繕箇所の確認、避難訓練報告(運営会議にて)
7月30日	修繕箇所の確認、避難訓練報告(運営会議にて)
9月26日	修繕箇所の確認、避難訓練報告(運営会議にて)
10月25日	修繕箇所の確認、避難訓練報告(運営会議にて)
12月2日	修繕箇所の確認、避難訓練報告(運営会議にて)



子どもは神が育て給う